

令和4年度 おいしいごはんを食べよう県民運動取組状況まとめ

	団体数	人数
団体	27	738,832
企業	6	2,351
行政	24	344,347
計	57	1,085,530

(参考 : R3実績)	
団体数	人数
26	707,067
6	2,527
21	332,371
53	1,041,965

令和4年度 おいしいごはんを食べよう県民運動 各会員による取組状況(団体)

27 会員 参加者数 738,832 人

団体名	事業名	時期	場所	参加者数	主催者	事業内容等
健康ひょうご21県民運動推進会議	健康ひょうご21県民運動健康づくり推進員研修会	11-1月	書面研修	209人	健康ひょうご21県民運動推進会議	健康づくり推進員養成講座。コロナのため「健康づくり推進員支援ガイド」を用いて書面研修を行った。からだ、食の健康、8020運動について研修。また、食の健康に関する研修動画を作成し配信した。
	食育コンサート	9-11月	県内10か所の保育園等	1,142人	健康ひょうご21県民運動推進会議	歌手グループによる歌や踊りを通して、大豆の栄養価や大切さを園児、保護者に伝えるコンサートを実施。
	Dr.家森と楽しむ世界の健康長寿食	10月21日	神戸ポートピアホテル	57人	健康ひょうご21県民運動推進会議	講演「大豆食のふるさと 貴州省 貴陽」健康ひょうご21県民運動推進会議 会長 家森 幸男 ランチタイム「中国 貴陽の長寿食を楽しもう～貴陽スタイルを取り入れた大豆の食べ方提案～」料理長 佐藤 幸治氏
	働き盛り世代へのSNSを使った情報発信「働く人の簡単ヘルシーごはん」	通年	健康ひょうご21県民運動ポータルサイト	-	健康ひょうご21県民運動推進会議	テーマに応じた料理レシピ、調理や栄養のポイントの他、時節に応じた健康情報等を定期的にInstagramで配信した。令和4年8月～令和5年3月20日
	食の健康運動リーダーの実践活動	通年	県内	44,643人	健康ひょうご21県民運動推進会議	幼児～高齢者を対象とした、調理実習や講話、食の健康づくりの啓発
兵庫県看護協会	まちの保健室	通年	県内32か所	1,438人	兵庫県看護協会	子育て相談では、予約制の対面相談やオンライン交流会を開催した。成長発達について、授乳量や離乳食、食事摂取量について、便秘について相談があった。武庫川女子大での測定は、「血管年齢」とKAGOME社の「ベジチェック(野菜摂取充足度)」した。高齢者住宅の健康相談では、サプリメントや健康食品に関する相談に対応した。また、体脂肪を減らすためにこれまでの生活に加えて、もう一つとり入れたいいけないと説明(運動や間食を減らす)した。
	子育て交流会	通年	県内1か所	196人	兵庫県看護協会	対面とオンラインで助産師や小児救急看護認定看護師等による子育て講座や交流会を開催。離乳食、子供のいつ乳や授乳、排便について説明した。
	まちの保健室栄養相談	通年	ヤマトヤシキ 東加古川子育てプラザ	145人	兵庫県看護協会	兵庫県看護協会から依頼を受け、乳幼児の食事の勧め方、食べさせ方、調理方法を助言した。
	児童食育研修会	令和5年1月28日	新長田ビレホール料理室	12人	兵庫県栄養士会	児童とその保護者を対象に兵庫県認証食品を利用して栄養バランスの良い食事づくりを実習、また児童向けの栄養講話を実施した。
公益社団法人 兵庫県栄養士会	スーパーと連携した食環境整備	令和5年3月5日	イオンジェームス山店	156人	兵庫県栄養士会	店舗への来場者各世代に向け、ご飯等主食、主菜、副菜の揃った健康的で、バランスの良い食事の展示、啓発。栄養相談の実施(10月)。フレイルチェックとアドバイス(3月)
	地域ごはん食・伝統食推進事業	7月～2月	県内58か所	3,728人	兵庫県連合婦人会 兵庫県米穀事業協同組合	ごはん食や地域の伝統食について、食育講話や普及啓発、料理教室を実施
兵庫県連合婦人会	地域ごはん食・伝統食推進事業	7月～2月	県内58か所	3,728人	兵庫県連合婦人会 兵庫県米穀事業協同組合	ごはん食や地域の伝統食について、食育講話や普及啓発、料理教室を実施
兵庫県いずみ会	地域ごはん食・伝統食推進事業	5月～2月	県内45か所	795人	各市町いずみ会 兵庫県米穀事業協同組合	ご飯を中心とした栄養バランスの良い「日本型食生活」や、ご飯の炊き方、伝統食について調理実習を伴う講習会の開催、及び活用による普及啓発
兵庫県消費者団体連絡協議会	地域ごはん食・伝統食推進事業	7月～2月	県内35か所	1,099人	兵庫県消費者団体連絡協議会 兵庫県米穀事業協同組合	主に子育て中の親世代を対象に、レシピ集等の作成や料理講習会(各家庭内での調理実習を含む)・講演会等の実施
(公社) 栄養医学協会	ごはん料理食育	6月～2月	県内児童館・公民館等	1,155人	兵庫県米穀事業協同組合	お米を通じて食と農のあり方を考え、ごはんを中心とした健康的な食生活を広く啓発するため、料理教室を実施
一般社団法人 兵庫県子ども会連合会	ふるさと兵庫のお米を知ろう!	令和4年10月2日	丹波篠山市(丹波篠山市四季の森生涯学習センター・食文化センター)	26人	一般社団法人 兵庫県子ども会連合会	・お米の講話(お米マイスター・川崎氏より) ・兵庫県産のお米8種の利き米 ・防災カレー試食
	ふるさと兵庫のお米を知ろう!	令和4年11月23日	宝塚市(ピビアめふ)	41人	一般社団法人 兵庫県子ども会連合会	・お米の講話(JA兵庫六甲・職員より) ・兵庫県産のお米8種の利き米 ・防災カレー試食
日本ボーイスカウト 兵庫連盟	長期キャンプ、ハイキング、デイキャンプ等	通年	県内	のべ15,000人	日本ボーイスカウト 兵庫連盟 地域組織団・隊	活動での昼食は、おにぎり中心、キャンプでは飯ごう炊きんを実施 食べることの大切さやごはんのおいしさを伝えるようにしている
生活協同組合コープこうべ	たじまの田んぼ米づくり体験	4月～12月	美方郡香美町	のべ120人	生活協同組合コープこうべ	PB商品である兵庫県産特別栽培米コシヒカリ(つちかおり)の圃場で、①田植え②生き物調査③稲刈り④店舗での販売を、コープこうべの組合員親子と職員が体験 コープこうべ職員は④田植え準備⑤稲刈りを援農として体験 (JAたじま、全農兵庫、全農パルライス、コープライスセンターとの共同開催)
	つちかおり生産者&JAたじまとの交流	10月	加古郡福美町	12人	株式会社コープライスセンター	PB商品である兵庫県産特別栽培米コシヒカリ(つちかおり)の生産者とJAたじまに精米工場を訪問いただき、工場職員との交流を実施。
	ライスセンター見学会	5月	加古郡福美町	12人	生活協同組合コープこうべ	コープこうべの組合員(神戸市長田区)がライスセンターを訪問し、工場見学会と、コメ学習会(工場内施設の説明、DVD視聴、ごはん比較試食)を実施
	親子でもち米作り体験	6月～12月	加古郡福美町	のべ75人	生活協同組合コープこうべ	もち米の田植え、稲刈り体験ののち、餅つき体験を実施 キング醸造との共催でみりんの学習会も実施
	お米大好きロゴの作成	10月～	県内	-	生活協同組合コープこうべ	コープこうべ全体で「お米の消費拡大を目的とした取り組み」をはじめにあり、販促・交流・イベント等で使用できるロゴを作成
	新米の消費促進(店舗チラシ掲載)	10月21日	県内	-	生活協同組合コープこうべ	新米の時期に合わせてロゴを使用しながら無洗米の消費を促進

団体名	事業名	時期	場所	参加者数	主催者	事業内容等
	新米・無洗米の消費促進(店内BGM)	10月～12月、1月～	県内	—	生活協同組合コープこうべ	新米(OS兵庫県産こしひかり・CS兵庫米等)や無洗米について、米担当バイヤー等が消費を勧める店内BGMを適時放送
	コープcooking(レシピ提案)	11月	県内	—	生活協同組合コープこうべ	「かんたん汁三菜」をテーマに新米に合う料理を提案したレシピを作成
	宅配カタログでの消費促進	9月～10月	県内	—	生活協同組合コープこうべ	宅配カタログ「めーむらいふ」誌面で「新米・おにぎり」をテーマに消費促進につながる企画を実施
	コープこうべアプリ「投票でTOUCH」	10月1日～23日	県内	3,929人	生活協同組合コープこうべ	「つやつやの新米どう味わう？」をテーマに食べ方の投票を実施 白ご飯(2238票)・おむすび(474票)・炊き込みご飯(294)・大好きなご飯のおともと一緒に(861票)・その他(62票)の結果
兵庫県国公立幼稚園・子ども園長会	田植えから収穫まで	令和4年6月～令和5年2月	三木市立広野幼稚園	7	三木市立広野幼稚園(普段の保育活動の中での取組)	保護者の方から、稲の苗を頂き、園内で田植えから収穫まで行った。その後は、自分達で脱穀・精米をして、自分達で作ったお米を炊いておにぎりにして食べる経験ができた。
兵庫県生活研究グループ連絡協議会	兵庫県民農林漁業祭	10月22日、23日	県立明石公園	14,000人(再掲)	兵庫県民農林漁業祭実行委員会	県産米を使用した巻き寿司、米粉パン、玄米餅、玄米シートを販売
兵庫県信用農業協同組合連合会	環境保全・食農・金融経済教育にかかわる教材本の贈呈	4月1日	県内公立小学校特別支援学校	50,000人	JAバンク兵庫	兵庫県内公立小学校の5年生全員及び特別支援学校に、教材本「農業とわたしたちのくらし」を贈呈
全国共済農業協同組合連合会兵庫県本部	県内大学生向け「兵庫米」の提供	10月28日、3月29日	芸術文化観光専門職大学、兵庫県立大学	—	JA共済兵庫	寮生活・自炊を行う学生に対し、県産米を贈呈(合計250kg)
兵庫県農業共済組合	『農』絵画コンクール	9月	県内小学3年生	4,129人	兵庫県農業共済組合	農作業風景、農村風景など「農」が創出する働く喜び、豊かな自然、美しい景観を題材とした絵画を通じ、農業の大切さを実感
全国農業協同組合連合会兵庫県本部	兵庫県産米応援キャンペーン	1月14日～2月28日	県産米販売店、生協、直売所等	のべ5,500人	全国農業協同組合連合会兵庫県本部	生産資材が高騰する中、「県産米を食べて農家を応援」するキャンペーンを実施。 県産米5kgを購入した消費者を対象に、抽選で県特産品等を進呈。
兵庫県農業協同組合中央会	ふるさと兵庫のお米を知ろう!	10月2日	丹波篠山市四季の森生涯学習センター食文化センター	13人	(一社)兵庫県子ども会連合会	親子で兵庫県産米の食べ比べを行い、お米について考える機会として兵庫県産米(産地別)を提供した また、本会より食農教育の一環として食料安全保障について説明した
	ふるさと兵庫のお米を知ろう!	11月23日	宝塚市ピビア売布	31人	(一社)兵庫県子ども会連合会	親子で兵庫県産米の食べ比べを行い、お米について考える機会として兵庫県産米(産地別)を提供した
兵庫南農業協同組合	ちゃぐりんスクール	6～12月	水田	20人	JA兵庫南	小学3～6年生を対象に水稲栽培を実施、収穫したお米は各自持ち帰り味わう
	「お米」の特集	8月、11月	管内	278,500人(発行部数)	JA兵庫南	広報誌(組合員)・新聞折込チラシ(管内)に「お米」の特集記事を掲載 お米の栽培方法や品種、おすすめのおにぎりなど広くPR
	かまど炊飯体験	12月1日	管内小学校	136人	JA兵庫南	小学3年生が支店ふれあい委員に指導を受けながら地元産米と児童が収穫したサツマイモを炊き、サツマイモご飯を作り試食
	新米特売	11月、12月	直売所	60,000人(発行部数)	JA兵庫南	地元産米の消費拡大を図るため、新聞折込チラシや店頭でPR
みのり農業協同組合	KOUUNプロジェクト田植え体験	5月27日	西脇小学校	77人	JAみのり青年部西脇支部	小学生を対象とし、田植え体験を実施 ※収穫体験は雨天のため中止
ハリマ農業協同組合	水稲栽培等について出張授業	5月6日～11月15日	千種小学校、千種高校	232人	JAハリマ	小中高連携一環教育として、農業や食育の意識を高めるためにお米に関する特別授業を実施 特別栽培米「ちくさの舞」を試食、環境に配慮した栽培方法を説明
	ちゃぐりんフェスタ	10月22日	JAハリマ本所、周辺の圃場	72人	JAハリマ	特産「丹波黒大豆」枝豆収穫体験、食農クイズ、昼食に手作り「コンヒカリおにぎり弁当」
	かまどご飯塾	6月17日、11月15日	千種「ええとこ広場」山崎「学遊館」	57人	JAハリマ	親子を対象とした「かまど」を使った炊飯体験 浸水・蒸らしの時間を利用して、JAの食農教育事業やごはん食推進の意義と取り組みを紹介
兵庫西農業協同組合	米作り体験	10月26日	安室小学校	127人	JA兵庫西(姫路西郡)	安室小学校3年生児童及び地域農区役員とともに米の炊き出しからおにぎり作りまでを実施
	田植え体験	6月2日～16日	JA兵庫西管内小学校	のべ658人	JA兵庫西	自治会・農区・行政区等と支店が参加し、生徒が植付から食すまでを体験する。
	パケツ苗体験	5月24日	越部小学校	29人	JA兵庫西(揖龍)	越部小学校5年生を対象に講師を招き、植え替え作業とお米についての講義を実施
	稲刈り	10月5日～25日	JA兵庫西管内幼稚園・小学校	のべ600人	JA兵庫西	6月に田植えた稲の刈取り体験を実施
	直売所で玄米PR活動	通年	各JA兵庫西直売所店頭	のべ2,200人	JA兵庫西(各営農生活センター)	生活指導員が旬の野菜レシピの配布と玄米のPR活動を各旬彩蔵店頭で実施
あわじ島農業協同組合	田植え体験	6月	南あわじ市内3小学校	120人	JAあわじ島	地域の生産者に協力いただき、手植えでの田植えを実施
	稲刈り体験	9月	南あわじ市内3小学校	120人	JAあわじ島	6月に田植えた稲を、鎌を使って手作業で収穫
丹波ひかみ農業協同組合	食農教育実践プログラム	5月～2月	丹波市内小学校近隣ほ場	1,600人	各小学校 JA丹波ひかみ	市内各小学校の児童に対して、米・黒大豆・小豆・さつま芋などの定植や収穫を通じて、「食」の大切さと「農」の役割について学んでもらう

団体名	事業名	時期	場所	参加者数	主催者	事業内容等
兵庫県稲作経営者会議	県産米の消費拡大推進イベント	10月22日～23日	兵庫県立明石公園	300人	兵庫県農林水産漁業	県産米のPR、米の特別販売
公益社団法人ひょうご農林機構 (兵庫県農生活センター)	親子農業体験教室	6月～12月	兵庫県農生活センター 圃場	80組 270人	ひょうご農林機構 兵庫県農生活センター	お米づくりコース：参加者が田植えし、刈り取ったキヌヒカリを使って飯ごう炊き体験 丹波黒大豆づくりコース：参加者が植付け集荷有した黒豆と、お米づくりコースのキヌヒカリを使って、黒豆ごはんの飯ごう炊き体験
兵庫県米穀事業協同組合	かまどごはん塾	5月～2月	県内	1,006人	兵庫県米穀事業協同組合	保育園・幼稚園の児童と保護者対象、かまど炊飯体験・試食、お米の大切さの講義を実施
	お弁当・おむすびコンテスト	7月～2月	県内	12,503人		兵庫県産の農林水産物を使用した、アイデアあふれる「お弁当・おむすび」を広く県民から募集し、選考・表彰式を実施
	お米ってすごい！お米の良さを再発見！（ラジオ企画）	7月～9月	KissFM KOBE	1,027人		若い世代へお米・ごはん食の誤った情報を払拭し、正しい情報の発信により、お米・ごはん食への意識を啓発するため、ラジオ放送およびSNS（ツイッター）で情報発信
	お米・ごはん推進フォーラム	2月18日	兵庫県公館（配信併用）	197人		パネルディスカッション「ごはん食と体づくり～アスリートに学ぶごはん食の大切さ～」出演者：坂元 美子 氏（神戸女子大学准教授）、近藤 岳登 氏（タレント、Kiss FM KOBEサウンドクルー）、俊介 氏（タイガースアカデミーベースボールスクールコーチ）、クマガイタツロウ 氏（歌手、Kiss FM KOBEサウンドクルー）
	兵庫県農林漁業祭	10月22日、23日	明石公園	14,000人		兵庫県産米（夢ひょうご）販売、おいしいごはんを食べよう県民運動パネル展示、ごはん食の有用性の啓発資料配布
	お米de部活応援！	10月～2月	県内高校3校 KissFM KOBE	3,953人		県内の高等学校で部活動を行う生徒を対象として、補食でごはんを食べることを通じ、生徒や保護者・学校関係者が、ごはん食について理解を深め、ごはん食を増やすことを目的として実施、ラジオ・SNSで取組を啓発
	新聞紙面掲載	1月14日	神戸新聞	414,051人		県民運動の取り組みを広くPR、県産米販売促進を情報発信
	オンライン親子料理教室	11月27日	県内	232人		感染症拡大防止のため、参加者を参集せず、生産者及びプロの料理人を講師として、オンラインによる食育講習と料理教室を実施
	ひょうご安全の日のつどい おむすびの日PR	1月17日	HAT神戸	481人		県民運動の取組とおむすびの日のPR お米等に関するアンケートの実施
	ごはん食インターネット情報発信	通年	県内	139,299人		ホームページ、フェイスブックページを活用し、県民に向けて県民運動の取組や、ごはん食の有用性を情報発信
	おむすびの日の啓発	通年	県内4か所	841人		おむすびの日の普及啓発資料を配付
	ごはん食普及啓発資料の配付	通年	県内30か所	9,453人		おいしいごはんを食べよう県民運動協議会団体実施行事と連携し、ごはん食普及啓発資料を配付
	公益財団法人兵庫県体育協会 兵庫県学校給食・食育支援センター	「ひょうごっ子の給食レシピ～わが町の献立(地場産物～)の研究」	会議年6回	兵庫県学校給食・食育支援センター他		延べ49人
「ひょうごっ子の給食レシピ～わが町の献立(地場産物～)の配布」		配布年11回	県下栄養教諭等配置校	—	兵庫県学校給食・食育支援センター	県産品を使用した献立例の配布
体験学習の出前講座「ごはん塾」		6月28日	尼崎市立武庫南小学校	131人	兵庫県学校給食・食育支援センター	かまど炊飯体験、保護者対象の食育講義(学校へ出前講座)
体験学習の出前講座「ごはん塾」		9月30日	神戸市立千代ヶ丘小学校	119人	兵庫県学校給食・食育支援センター	かまど炊飯体験、保護者対象の食育講義(学校へ出前講座)
体験学習の出前講座「ごはん塾」		10月28日	兵庫県立こばと聴覚特別支援学校	46人	兵庫県学校給食・食育支援センター	かまど炊飯体験、保護者対象の食育講義(学校へ出前講座)
体験学習の出前講座「ごはん塾」		12月19日	宝塚市立山手台小学校	187人	兵庫県学校給食・食育支援センター	かまど炊飯体験、保護者対象の食育講義(学校へ出前講座)
コープ自然派兵庫	田んぼの楽校	5月8日、5月14日、6月18日、6月25日、7月10日、8月20日、10月22日、11月13日	神戸市西区上津橋	延べ690人	田んぼの楽校運営委員会	家族やグループで1区画のお米を育てるマイ田んぼと、10グループで共同でお米づくりを体験する共同田んぼの2タイプの関わり方で、年間を通して参加し、水稲の種子温湯消毒から田植え、収穫までを体験(活動12年継続)＊
	お家でパケツ苗を育て、シェアしよう	5月～11月ごろ	各自宅	59組	コープ自然派兵庫 ピジョン食と農	神戸市西区上津橋(田んぼの楽校)のイネ苗を希望組合員さんにお配りし、各自宅でパケツ稲栽培を体験していただきました。稲の成長の様子はインスタへアップし、栽培の様子を参加者間で共有しながら行いました。
	田んぼの生きもの調査(豊岡)	7月3日	豊岡市	24人	コープ自然派兵庫 JAたじま	3年ぶりの豊岡での田んぼの生き物調査。あいにくの大雨の中でしたが、田んぼの中に入り多くの生き物を採取調査することができました。
	ゆうやけこやけ米生き物調査&草引き	7月18日	たつの市揖保川町	30人	コープ自然派兵庫 ピジョン食と農	無農薬田んぼの草引き体験と田んぼの生き物調査
	ゆうやけこやけ米 稲刈り体験と新米試食会&秋の生き物調査	10月15日	たつの市揖保川町	21人	コープ自然派兵庫 ピジョン食と農	無農薬田んぼの稲刈りと秋の田んぼの生き物調査、新米の試食
	総代のつどい①お米の食べくらべしよう♪	2月3日	神戸市中央区文化センター	20人	コープ自然派兵庫	生協のお米の取組み、産地・品種の食べ比べとお米の学習会

令和4年度 おいしいごはんを食べよう県民運動 各会員による取組状況（企業）

6 会員 参加者数 2,351 人

団体名	事業名	時期	場所	参加者数	主催者	事業内容等
株式会社神明	十倉ふるさと交流田	年6回	三田市十倉	10人	株式会社神明	十倉営農組合と連携して稲作について研修を実施
	大学の部活動へ精米の提供	随時	—	—	株式会社神明	体育会系部活動への精米提供(年間約18トン) お米を通じた健康な体づくり、スポーツによる青年の健全育成に寄与
阪神米穀株式会社	ホームページでのPR	随時	—	—	阪神米穀	当社ホームページに県民運動とリンク
	十日戎大祭	毎年1月9日～11日	西宮神社	—	西宮神社	十日戎大祭に出店し米のPR
全農パール株式会社	援農体験(春すき/肥料まき/苗床づくり)	4月16日	豊岡市	10人	コープこうべ	職員が生産現場にてPB商品であるつちかおりの援農体験を行うことで、生産現場やお米の生産工程を理解していただき、なお一層の販促案を講じていただく 頒布会で利用している兵庫県産特別栽培米コシヒカリ(つちかおり)の生産現場にて、JA担当者や生産者とともに田植えや稲刈り、田んぼの生き物調査を体験するとともに、産地の食材を召し上がっていただく
	田植え体験	5月14日	豊岡市	20人		
	生き物調査体験	6月19日	豊岡市	20人		
	援農体験(草刈り)	7月16日	豊岡市	10人		
	稲刈り体験	9月17日	豊岡市	20人		
	量り売り	5月19日、10月20日、12月15日	コープこうべ シア店	計2,000人		
	生き物調査	7月9日	JA兵庫六甲	30人	JA兵庫六甲	生産現場へ赴き自らの手で田植えや田んぼの生き物調査を体験していただくことで、生産者と触れ合う場を設ける。
播州農機販売株式会社	食味値測定	9月15日～11月5日	播州農機販売株式会社 本社、兵庫農機販売株式会社本社	201人	播州農機販売株式会社	生産者の玄米サンプルの食味値を測定(食味計:K-TA200)
株式会社マルヤナギ小倉屋	佃煮の日	6月29日前後	全国のスーパーマーケット		㈱マルヤナギ小倉屋	6/29:佃煮の日 記念日に合わせて、全国のスーパーマーケットの方にご協力をいただき、ごはんのお供である佃煮商品ので売り場を作っていただきました。
	「まるやか煮椎茸昆布」を塩分4.3%にリニューアル	11月	全国のスーパーマーケット		㈱マルヤナギ小倉屋	マルヤナギ「まるやか煮椎茸昆布」をしっかりとおいしく塩分を7.1%から4.3%にリニューアルすることで、塩分を気にせずたくさん食べていただけるというご提案。
	昆布の日	11月15日前後	全国のスーパーマーケット		㈱マルヤナギ小倉屋	11/15:昆布の日 記念日に合わせて、全国のスーパーマーケットの方にご協力をいただき、ごはんのお供の昆布佃煮商品ので売り場を作っていただきました。
	チューブに入った佃煮「ぎゅぎゅっとイチおし」2品を発売	2月	全国のスーパーマーケット		㈱マルヤナギ小倉屋	お子さまでも絞れるチューブ入りの佃煮を発売することで、お子さまが自分で出してごはんを食べたり、おにぎりをカンタンに作れるご提案
	『マルヤナギ“昆布佃煮レシピ”総選挙』第2弾	3月	SNS		㈱マルヤナギ小倉屋	昆布佃煮の様々な食べ方を提案し、弊社で用意したレシピで一番食べたいと思ったものに投票してもらおう“昆布佃煮レシピ”総選挙を実施
株式会社淡路屋	お弁当・お弁当コンテスト コラボ弁当販売(最優秀作品の商品化)	2月17日～2月19日	神戸大丸 食品フロア	30人	大丸松坂屋百貨店 大丸神戸店 株式会社淡路屋	お弁当・おむすびコンテスト最優秀賞のお弁当が「淡路屋」が再現し、1日限定10個を販売(兵庫県産米を使用)

令和4年度 おいしいごはんを食べよう県民運動 各会員による取組状況（行政）

24 会員 参加者数 344,347 人

市町	事業名	時期	場所	参加者数	主催者	事業内容等
近畿農政局	フリースクールでの出前講座	6月22日	神戸市内 フリースクール	13人	近畿農政局兵庫県拠点	小学5・6年生を対象に、国内農業の課題、外国に依存している食料事情、自給率向上のための取組等の授業を実施併せて、米麦及び豆類の展示を行い、糊摺り及びびとう精(精米)を個人毎に体験 パンフレット配布(農林水産ジュニア白書、お米・ごはん再発見など)
	兵庫農業女子会	8月4日	吉備国際大学(農学部)「南あわじ志知キャンパス」	120人	南あわじ市 近畿農政局兵庫県拠点	県内女性農業者の集まりにおいて、パネル展示(おいしいごはんを食べよう県民運動)、パンフレット配布(お米・ごはん再発見など)
	北播磨 農と食の祭典	11月3日	兵庫県立フラワーセンター	50人	北播磨農と食の祭典実行委員会	食料事情、自給率向上のための取組等を掲載したパンフレット(農林水産ジュニア白書)を配布
	令和4年度みのりの祭典	12月10日	神戸市兵庫区 湊川公園	50人	みのりの祭典運営協議会	食料事情、自給率向上のための取組等を掲載したパンフレット(農林水産ジュニア白書)を配布
	第60回淡路農林水産祭	1月15日	淡路市 伊弉諾神宮	50人	淡路農林水産祭実行委員会	食料事情、自給率向上のための取組等を掲載したパンフレット(農林水産ジュニア白書)を配布
	広報誌でのイベント案内記事掲載		県内	-	近畿農政局兵庫県拠点	兵庫県拠点広報誌「H-satt@ひょうご」誌面において、「令和4年度お米・ごはん推進フォーラム」の案内記事を掲載
	令和4年度お米・ごはん推進フォーラム(第25回 お弁当・おむすびコンテスト表彰式)	2月18日	兵庫県公館	197人 (再掲)	兵庫県 兵庫県米穀事業協同組合	令和4年度から、お弁当・おむすびコンテスト優秀賞として「近畿農政局長賞」を新設 表彰式とシンポジウムの様子を近畿農政局兵庫県拠点HPのフォトレポートのコーナーで紹介
神戸市	ごはん給食推進事業	通年	市内小学校・義務教育 学校前期課程・特別支援 学校	79,675人	神戸市教育委員会	学校給食(週3回)に地元産ブランド米を使用
	ごはん給食推進事業	通年	市内中学校・義務教育 学校後期課程	15,000人	神戸市教育委員会	学校給食(週5回)に地元産ブランド米を使用
	小学生等農業体験「ル・ル・ルプログラム」米作り	6月、10月	神戸市西区榎谷	63人	神戸市学校給食会 JA兵庫六甲	農家の協力により、田植え・稲刈りを経験、実際に米を炊きおにぎり体験までするプログラム
	神戸っ子「おにぎりプログラム」	10月～3月	市内各小学校・盲学校 (延べ29校)	2,226人	神戸市学校給食会	市内産の米・のりを配布し、食育・地産地消・食文化の継承等理解を深める。
尼崎市	お米作り	6月20日 田植 10月6日 稲刈	尼崎市 武庫之荘本町 3丁目	100人	JA兵庫六甲 (食農先生)	武庫庄小学校5年生を対象に田植え、稲刈りの体験授業を実施。
	お米作り	6月1日 田植 9月16日 稲刈	尼崎市 若王寺 1丁目	170人	園田南小学校	園田南小学校が環境学習で5年生を対象に田植え体験、稲刈りの見学を実施。
	心と体を育む幼児食講座	R4.4月 ～R5.3月	南部保健福祉センター 北部保健福祉センター 尼崎市立すこやかプラザ	109人	南部・北部地域保健課	市内の1歳～3歳未満の幼児と保護者を対象に、幼児期の食事についての学習や、家族一緒に食べられるレシピの紹介などの講座を実施。楽しくバランスよく食べられる炊き込みご飯のおにぎり食を啓発。
	こどものための食育推進講座	11月9日	尼崎市立立花幼稚園	36人	立花幼稚園 (北部地域保健課)	おにぎり弁当の具材や安全に作る方法についておにぎり弁当を食べながら実施。
	親子おはなしクッキング「てまり寿司」	2月20日	南部保健福祉センター	4人	食育サポーターの会 (南部地域保健課)	絵本の読み聞かせとその絵本にちなんだレシピやレシピ動画の紹介講座を実施 おひな祭りのちらし寿司を丸めて作るてまり寿司のレシピを紹介
	国民健康栄養調査	10月25日	中央地区会館	15組	健康増進課	地産地消の啓発として尼崎市産のお米を配布
	1.17を忘れない地域防災訓練	1月17日	尼崎市立中央中学校 体育館	300人	災害対策課	「1.17を忘れない」地域防災訓練で「バッククッキング」の実演「ローリングストック」について市民や中学生に啓発(健康増進課が実施)。
	伊丹市	伊丹市園芸協会 技術講習会	9月3日	伊丹市立産業振興センター	67人	伊丹市園芸協会
宝塚市	西谷収穫祭	12月4日	西谷ふれあい夢プラザ (屋外スペース)	2,100人	西谷収穫祭実行委員会	農産物の品評会・即売会
	ゲストティーチャー授業	10月～2月	市内の公立小中学校 (全3校)	525人	宝塚市 宝塚市教育委員会	学校の総合学習等の時間に合わせ、実際に農家が各学校にて講演及び体験学習(黒枝豆のさやとり体験、太ねぎの出荷作業体験等)を実施
川西市	市食育フォーラム	12月3日	市中学校給食センター	100人	川西市 川西市教育委員会	講演、活動発表、試食、地場産品販売、健康測定、パネル展示等
	市食育推進だより「いただきます」(第3号)の発刊	10月1日	市保健センター	2,000人	川西市	食育に興味をもつ市民を増やすため、地域団体や庁内部署等が取り組んでいる食育事業を掲載したリーフレットを発刊・配布
猪名川町	食育啓発	通年	町内各公共施設		猪名川町	町内各公共施設に食育のぼり旗「毎月17日は『いなの日』いなの日には、みんなでおいしいごはん(米)を食べよう」や食育に関する普及啓発チラシを設置し、ごはんの摂取拡大や食育推進を図っています。

市 町	事業名	時期	場 所	参加者数	主催者	事業内容等
	猪名川町食育推進事業 (オンライン親子料理教室)	令和4年8月4日 (木)	町内小学生児童・保護者	12,560人	猪名川町	Web会議システムZoomでのオンライン料理教室を開催しました。伝承料理の継承のため、巻きずし(ご飯飯)に関心を持ち作り方を習得することを目的とし、子どもや子育て世代の方が興味を惹くよう料理内容を「デコ巻き」としました。
	猪名川町食育推進事業 (食育動画の配信)	令和3年10月22日 から	町内外		猪名川町	町ホームページに食育動画「おうちごはんって、い〜な〜♪」シリーズ①「朝ごはんはでっかい〜♪」〜②「朝ごはんはでっかい〜♪」〜③「朝ごはんはでっかい〜♪」〜④「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑤「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑥「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑦「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑧「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑨「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑩「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑪「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑫「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑬「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑭「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑮「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑯「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑰「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑱「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑲「朝ごはんはでっかい〜♪」〜⑳「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㉑「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㉒「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㉓「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㉔「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㉕「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㉖「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㉗「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㉘「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㉙「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㉚「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㉛「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㉜「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㉝「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㉞「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㉟「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㊱「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㊲「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㊳「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㊴「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㊵「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㊶「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㊷「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㊸「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㊹「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㊺「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㊻「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㊼「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㊽「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㊾「朝ごはんはでっかい〜♪」〜㊿「朝ごはんはでっかい〜♪」
三田市	学校給食の充実	通年	市内の幼少中、県特支高等部	約10,000人	三田市教育委員会	米は年間を通じて三田米「どんとこい」を使用し、季節の三田産食材を積極的に導入。地産地消に取り組んだ。
	米粉パンの実施	通年	市内の幼少中、県特支高等部	約10,000人	三田市教育委員会	米飯給食の推進に併せ、米粉パンを提供
	ひとくちおしゃべりタイム (給食時間の指導)	通年	市内の幼少中、県特支高等部	約10,000人	三田市教育委員会	給食センター発行の資料「こんしゅうのこんだて」を提供し、給食時間に活用。QRコードを利用し、当日の献立や調理中の様子を動画で紹介した。
	学校・園で育てた野菜の提供	通年	市内の幼少中、県特支高等部	約10,000人	三田市教育委員会	学校・園の菜園で育てた野菜を給食に取り入れ、収穫の喜びやおいしさを共に味わい感謝の心を育てる。
	給食センター紹介動画	令和5年3月	市ホームページ	-(市民など)	三田市教育委員会	ふだんは見ることができない給食センター内を案内し、食に関心をもち、食に対する感謝の気持ちを醸成する。
	食育啓発作品募集(絵手紙)	【募集】 7月22日～9月9日 【審査】 10月7日	市内	2,305人	三田市教育委員会	自然豊かな三田の食材を味わう喜びや楽しさと生産者への感謝の気持ちを絵と言葉で伝える絵手紙を募集し、食育推進事業に活用した。 【応募作品数】2,305作品(幼 99、小 1,186、中 1,020) 【入賞】最優秀賞3点 優秀賞5点 入選6点 佳作7点 特別賞4点
	配送トラックのラッピング 及び運用	令和5年3月	市内	-(市民など)	三田市教育委員会	食育啓発作品募集において、最優秀賞を受賞した3点のうち1点を今年更新する配送トラックの背面にラッピングした。
	食に関する作品展 三田の学校給食展	令和5年1月24日～ 1月31日	市民センター	-(市民など)	三田市教育委員会	三田の学校給食の魅力や食育の大切さについて、広く市民に啓発した。
	バランス食育教室	9月30日、11月27日	総合福祉保健センター	22人	三田市健康増進課	栄養士によるバランスの良い食生活についての栄養講話と市販のお惣菜等を上手に活用したメニューを紹介する講座(おにぎり3種他)
	ヘルシークッキング	10月25日、1月27日	総合福祉保健センター	15人	三田市健康増進課	生活習慣病予防の料理教室(ごはんを主食とした献立)
明石市	食育人形劇 ひよっこ	通年	市内認可保育所、幼稚園	3,000人	明石いずみ会 (事務局) 健康推進課	未就学児とその保護者等を対象に、食事の大切さやお米ができるまでの様子を人形劇で伝えた。
	おしゃもじ☆ごはん教室	9月～2月	公立保育所・こども園 (11施設)	350人	明石市こども局こども 育成室	5歳児を対象に、ガラス鍋でご飯を炊き、ご飯の炊ける様子や香りを体験する。また、炊いたご飯でおにぎりを作り、明石市の特産品である「海苔」とともに試食する。
加古川市	加古川市地元産食材給食 推進事業	通年	市内小学校28校 中学校12校 特別支援学校1校	約22,000人(教 職員含む)	教育委員会	市内学校給食に地元産米(ヒノヒカリ)を導入することにより、児童、生徒がおいしい米飯に親しみ、豊かな食生活を形成することを通じて、地元産米の消費拡大を図るもの。 また、令和4年度は、1月～2月に地元産ブランド米(志方健やか米:約18.0トン)を使用し、献立表により保護者にも案内をしている。
高砂市	稲作体験	6月～10月	市内	のべ300人	高砂市	地元の集落営農組織と連携し、こども園の園児及び保護者を対象に田植え・稲刈り体験を実施
	浜の母ちゃん料理教室	通年	市内	約700人	高砂市豊かな海を守る 会	高砂市で水揚げされた海産物を使った料理教室とDVDを使った環境学習を実施
稲美町	米消費拡大 推進事業	通年	町内各小・中学校	2,000人	稲美町	学校給食に地元ブランド米「万葉の香」を使用し、米の美味しさを伝える。
小野市	地域ごはん推進事業(妊婦サロン・パパママサロン)	10月26日、1月18日	小野市保健センター	16人	小野市、小野市いずみ 会	ごはんの大切さについて講話 ごはん料理のレシピ紹介、啓発資料の配布
西脇市	おにぎり会	4月19日、5月23日、 6月27日、9月14日	黒田庄福祉センター 3階へそっランド	16人	こどもプラザ	洗米体験やおにぎり作りを通して食に対する関心を持ち、親子のつながりを深める。
	児童館クッキング	4月24日	茜が丘複合施設 みらいえ調理室	15人	こどもプラザ	小学生を対象に、西脇産米を使った彩り豊かなおにぎり作りを実施。
	児童館クッキング	5月18日	茜が丘複合施設 みらいえ調理室	14人	こどもプラザ	小学生を対象に、海老をこのほりに見立てたランチ作りを実施。
	児童館クッキング	6月18日	茜が丘複合施設 みらいえ調理室	15人	こどもプラザ	小学生を対象に、大切な人へのありがとうランチとして、いなり寿司やだし巻き卵を使ったお弁当作りを実施。
	児童館クッキング	9月24日	茜が丘複合施設 みらいえ調理室	12人	こどもプラザ	卵、小麦、牛乳アレルギーに対応した栄養満点のお弁当作りを実施。
	児童館クッキング	11月23日	茜が丘複合施設 みらいえ調理室	13人	こどもプラザ	小学生を対象に、玄米と旬の野菜をたっぷり使って体に優しいお弁当作りを実施。

市 町	事業名	時期	場 所	参加者数	主催者	事業内容等
	児童館クッキング	3月18日	蕎が丘複合施設 みらいえ調理室	19人	こどもプラザ	小学生を対象に、ご飯を薄焼き卵と海苔で巻き、うずらの卵を乗せておひなさまに見立てたひな寿司と、鶏肉の照り焼きを入れたおひなさま弁当作りを実施。
	こどもプラザで夏の思い出を作ろう みらいえの好きな場所で読書を楽しもう	7月26日	蕎が丘複合施設 みらいえ調理室	16人	こどもプラザ	小学生を対象に、館内で読書をする事業を実施。夕方からの活動のため、おにぎりとお味噌汁を調理し軽食とする。
	こどもプラザで夏の思い出を作ろう かまどベンチでカレー作り	8月30日	蕎が丘複合施設 みらいえ調理室	10人	こどもプラザ	小学生を対象に、みらいえ敷地内にある防災用のかまどベンチでカレー作り。(当日雨天のため調理室で実施。)ご飯をキャラクターの形に盛り付け、自分たち切った野菜を使ったカレーを夕食とする。
	こどもプラザで夏の思い出を作ろう かまどベンチでカレー作り	8月30日	蕎が丘複合施設 みらいえ調理室	10人	こどもプラザ	小学生を対象に、みらいえ敷地内にある防災用のかまどベンチでカレー作り。(当日雨天のため調理室で実施。)ご飯をキャラクターの形に盛り付け、自分たち切った野菜を使ったカレーを夕食とする。
	小中学生食育学習支援事業	7月28日	西脇市蕎が丘複合施設 みらいえ	13人	西脇市	小学生といずみ会及び主任児童委員と一緒ににおにぎり作りを楽しむ。
	離乳食教室	4月11日、6月13日、 8月1日、10月17日、 12月12日、2月13日	西脇市市民交流施設 オリナス	64人	西脇市	乳児の保護者を対象として、大人のごはん食から離乳食につなげる「取り分け法」を、デモンストレーションも交えて指導する。また、炊飯器の中で少量の10倍がゆを同時に作るコップ粥を披露する。
	高校生といずみ会による 交流料理教室	8月29日	西脇市蕎が丘複合施設 みらいえ	12人	西脇市いずみ会	西脇工業高等学校家庭部員を対象に、いずみ会が主食をご飯とした日本型食生活を啓発すると同時に調理実習を行う。
	スキルアップ教室	10月31日、11月9日、 11月15日、11月24日	西脇市市民交流施設 オリナス	35人	西脇市いずみ会	フレイル予防を考えたごはんにあう献立を調理実習する。
	おにぎり会	11月21日	西脇市黒田庄福祉センター	9人	こどもプラザ	幼児がいずみ会と一緒に、洗米体験から炊飯、おにぎり作りまで楽しむ。付き添いの保護者は自宅からおにぎりの具材を持ち込む。
	西脇おやこ交流教室	2月7日	西脇市蕎が丘複合施設 みらいえ	64人	こどもプラザ	いずみ会が、ごはんに合うおかずとして五目豆を作り、幼児とその保護者に提供する(テイクアウト)。
	幼児対象食育推進事業	10月25日、11月7日	しばざくら幼稚園 芳田こども園	45人	西脇市	いずみ会員が播州織の生地や不織布で食べ物そっくりに手縫いした物品とエプロンに貼り付けるエプロンシアターを園児に披露。茶碗に入ったごはんを見せて、朝にごはんを食べて午前中はしっかり体を動かそうと啓発する。
	出前講座	9月20日	西脇市蕎が丘複合施設 みらいえ	19人	西脇市	くらしの教室重春野村地区会員を対象に、主食をごはんにしたフレイル予防献立を調理実習する。
	介護予防サポーター養成講座	1月18日	西脇市市民交流施設 オリナス	19人	西脇市	主食をごはんとして、主菜副菜をそろえた弁当を実際に用意して、フレイル予防となるたんぱく質食材や摂取量を指導する。
姫路市	第29回姫路市農林漁業まつり	11月19日、20日	姫路市農業振興センター	11,000人	姫路市	地産地消を目的としたイベントにおいて、米を含む農産物を市内生産者が販売
	学校給食	4月～3月	市内小学校	45,000人	姫路市教育委員会	米飯回数増の取組を実施
神河町	かまどご飯炊き体験授業	11月16日	神河みどりのパーク	50人	但馬米穀 神河町	かまどでご飯を炊く体験授業、町内の神崎小学校6年生が参加米とぎや薪割りを体験し、かまどで炊いたご飯を味わった
たつの市	たつのハートごはん活動	通年	市内こども園、小学校、 イベント、その他	965人	たつのハートごはん	かまどごはん体験を通じて、朝ごはん、ごはんの大切さを伝える
	かまどごはん体験	11月9日	たつの市旧脇坂屋敷	20人	龍野子育てつどいの 広場	「たつのハートごはん」さんの指導のもと、親子でかまどで薪を燃やしてご飯を炊く体験をし、かまどで炊いたごはんと地元野菜を使ったお汁を試食
上郡町	かみごおり地産地消WEEK	3月13日～16日	上郡町立 上郡こども園	平均93人	上郡町役場 農林振興課	園児を対象に、上郡町内の農業者が生産する米や野菜を知ってもらうため、上郡町産の農産物を使用した給食を提供した。また、保護者に向け、生産者や給食で使用した農産物の情報をパンフレットにまとめ、配布した。
佐用町	鯖寿司の講習会	9月	佐用町保健センター	15人	佐用町、佐用町いずみ 会	地域に伝わる祭りの「鯖の姿鮓」を伝統料理として伝えるため、講習会を開催するとともにケーブルテレビで放映した
	黒豆おこわの普及	12月	南光文化センター	12人	佐用町	高年大学「栄養と料理部」においておせち料理のメニュー地元の特産物である「黒豆」を使ったおこわを調理実習に取り入れた
豊岡市	地元ブランド米を学校給食 で供給	通年	市内 小・中学校	6,000人	豊岡市	学校給食で週5日も地元ブランド米「コウノトリ育むお米」を提供コウノトリ育む農法生産者による小学校での授業も実施
香美町	令和4年度 香美町おいしい お米コンテスト ～笑い 飯哲夫と笑い飯～	11月20日	香美町内 (香住区中央公民館、 香住文化会館)	400人	香美町	米生産農家の意欲の向上と消費者の需要拡大を目的としたお米のコンテストを実施し、生産農家、消費者全員が香美町のお米のすばらしさを再認識 特に今年度は、タレントの笑い飯哲夫さんと藤原岬さん等をゲストに迎えてトークショーを実施したほか、「香美町おいしいお米コンテスト」「香美町おむすびプロジェクト」「かまど炊飯体験」等の企画も併せて実施
新温泉町	学校給食	通年	町内小・中学校	約700人	給食センター	地元産米を学校給食に使用 (年間使用量15,000キロ)
	地産地消 料理教室	8月	浜坂文化会館	10人	農林水産課 地域おこし協力隊	地元夏野菜を使った料理教室
	地産地消 料理教室	9月	町民センター	16人	農林水産課 地域おこし協力隊	旬の日本海の魚を使った料理教室
丹波篠山市	農都のめぐみ米 学校給食使用	通年	市内の小中学校	約3500人	丹波篠山市	環境や生きものに配慮して作った農都のめぐみ米を学校給食で使用
丹波市	ごはんとみそ汁教室(小学生)	6月17日～3月6日	市内小学校	346人	丹波市 丹波市いずみ会	いずみ会が講師となり、子どもたちが「ごはん」とみそ汁が作れる力を身に付けさせることを目的に開催。鍋でごはんを炊き、だしをとってみそ汁を作る実習を中心に学年に応じたおかずを調理する。朝ごはんアンケート実施。

市 町	事 業 名	時 期	場 所	参加者数	主催者	事 業 内 容 等
	ごはんのみそ汁教室(中学生)	10月18日～12月9日	市内中学校	508人	丹波市 丹波市いずみ会	いずみ会が講師となり、健康的な日本型食生活を体験する教室。丹波市産大納言小豆を使った小豆ごはんのほか、サンマを載せてのかば焼きの調理等を実施。
	子育て世代食育教室	9月27日～2月4日	市内子育て学習センター、住民センター他	105人	丹波市 丹波市いずみ会	いずみ会が講師となり、ママやパパによるごはんを中心としたバランス献立の実習や、親子でおはぎ風お団子づくりなど、食べ物に触れる体験教室を実施。
兵庫県 ※他団体等との共催 事業や再掲行事を除く	スポーツイベントでの啓発	7月6日	ノエビアスタジアム	200人	ヴィッセル神戸 【所管:兵庫県地域振興課】	サッカーの試合において、兵庫県をPRするブースを設置 来場者の小学生親子等に向けて、お米・ごはん食の啓発資材を配布
	ぼうさいこくたい2022	10月22日、23日	HAT神戸エリア	12,000人	防災推進国民大会 2022実行委員会(内閣府等) 【所管:兵庫県防災支援課】	防災に関する活動を実践する多様な団体・機関が一同に会し、取組・知見を発信・共有する日本最大級の防災イベントにおいて、震災を契機に始まった当運動の紹介や、お米・ごはん食の啓発を実施